

V. 健康福祉を支える地域づくり・人づくり

～ともに支え合う社会をめざして～

課題1

誰もが社会の
一員として暮らせる
社会づくり

施策の
方向性

- ・人権意識の高揚、ノーマライゼーションの理念の普及に努めます。
- ・生活困窮者が抱える複合的な課題に包括的に対処するため、個々の状況に応じた支援に取り組みます。
- ・医療通訳の充実や日本語習得に向けた取組など、外国人や外国につながりをもつ子どもへの支援を進めます。
- ・人にやさしい街づくりなど、誰もが安心して暮らせる環境づくりを推進します。

課題2

ともに支え合う
地域づくり

施策の
方向性

- ・高齢者を対象とした地域包括ケアシステムの構築を着実に推進するとともに、分野を問わない包括的な相談支援や総合的なサービスの提供について、国の動向を踏まえ検討していきます。
- ・行政や地域住民、ボランティア、NPO、企業など、地域の多様な主体が連携・協働し、支え合う地域づくり(場づくり)を多層・多重ネットワークで構築する取組を推進します。
- ・高齢者や障害のある人など災害時に配慮が必要な人への支援体制の整備を推進します。

課題3

地域を支える
人材の育成

施策の
方向性

- ・地域づくりに関し地域住民への理解の促進を図るとともに、元気な高齢者の地域活動への参加促進を図ります。
- ・支援を必要とする人を必要な支援につなぐ「支援のつなぎ役」として、地域で相談支援活動を行う人材の育成を図ります。



取組例

愛知県災害派遣福祉チーム (愛知DCAT)の活動

高齢者や障害のある人など配慮が必要な方(要配慮者)を支援するため、社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパーなどの福祉専門職、社会福祉施設等の介護従事者等で一定の研修を受けた者をチーム員として登録し、大規模災害発生時に、4～6名程度でチームを編成し、避難所等で支援活動を行います。

